

成人における抗ヘルペスウイルス薬フォーミュラリ（経口）

ヘルペスウイルス

鑑別診断に迷う場合
迅速検査キット使用

参考資料；各添付文書、
JAID_JSC感染症治療ガイド2023

2026.4時点の薬価（当院採用銘柄）

監修：皮膚科 鷲尾健医長
作成：薬剤部 森良江 前万紀子
薬学部実習生 川本翔也
2026.2 初版作成
2026.4 改訂

単純疱疹（HSVウイルス）軽度～中等度

帯状疱疹（VZVウイルス）軽症～中等度

※目安として皮疹発現後5日以内の投与開始が望ましい

初発

再発

✓ アドヒアランス不良例
✓ 腎機能障害で調整困難例

✓ アドヒアランス不良例
✓ 腎機能障害で調整困難例

バラシクロビル錠500mg

1日2回1回1錠（128.8円/日）
5日間

バラシクロビル錠500mg

1日2回 1回1錠（128.8円/日）
5日間

バラシクロビル錠500mg

1日3回 1回2錠（386.4円/日）
7日間

アメナリーフ錠200mg

1日1回 1回2錠（2248.6円/日）
7日間

アメナリーフ錠200mg

1日1回 1回6錠（6745.8円/日）
単回投与

☆免疫低下や合併症がない場合で軽度～中等症例はできるだけ
早期に十分量の抗ヘルペスウイルス薬を全身投与する

☆下記の**重症例・リスク症例**は原則入院の上、**アシクロビル点滴**治療を行う
（汎発性帯状疱疹、顔面帯状疱疹、免疫抑制剤・化学療法投与中、神経麻痺などの神経障害を合併している場合）

上記治療で改善が見られない、重症化する、免疫不全となる場合は皮膚科にコンサルテーション

バラシクロビル

- 腎機能低下患者（高齢者を含む）に対し、精神神経症状や腎機能の悪化の可能性があるため適切な減量を行う〈右図参照〉
- 意識障害が現れる事があるため、運転等には注意するように説明

Ccr (mL/min)	≥ 50	49~30	29~10	10>
単純疱疹	500mgを12時間毎	500mgを12時間毎	500mgを24時間毎	500mgを24時間毎
帯状疱疹	1000mgを8時間毎	1000mgを12時間毎	1000mgを24時間毎	500mgを24時間毎

アメナリーフ

- 食後に服用（空腹時は吸収低下・効果減弱）
- （再発性の単純疱疹）初期症状発現から6時間以内に服用する
- リファンピシン服用中の患者は禁忌
- CYP3A4で代謝されるため相互作用に注意